



親子でかもしか修了式

か もしかクラブの修了式と親子読書活動「親と子のつどい」が2月23日(金)に虹のプラザ多目的ホールで開催されました。かもしかクラブ修了式では町内3つの保育園の年長児51名に横山利一副町長から修了証とランドセルカバー、防犯ブザーが贈られました。その後、村山総合支庁の職員が交通安全を啓発する手作りの大型紙芝居の読み聞かせを行い、最後に道路横断時のお約束「ストップの約束」を園児全員で再確認しました。引き続き行われた親と子のつどいでは、大型絵本読み聞かせやピアノの演奏にあわせてリズム遊び、人形劇の上演などが行われ、親子で触れ合いながら楽しんでいました。

おいしいそば味わって

町 内のそば店14店舗で組織する大石田そば街道振興会(海藤均会長)の会員が2月23日(金)に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたてゆでたてのそばを振舞いました。これは振興会が美味しいそばを味わってもらおうと毎年行っているもので、会員らは利用者が集まる中でそば打ちを実演しました。また、利用者のそば打ち体験もあり、会員らが「いい手つきだ」などと励ましながら「こね、のし、きり」といった作業を行い、作業が終わると見守っていた利用者や職員から拍手が送られていました。その後、茹でたてのそばが振舞われ、利用者らは美味しく味わっていました。



楽しく元気に福祉のつどい

い きいき大石田福祉のつどいが2月25日(日)に虹のプラザ多目的ホールで行われ、老人クラブ活動に尽力された方への表彰と各地区の趣向を凝らした歌や踊りの披露が行われました。オープニングの寸劇「認知症を正しく理解しよう!」では、地域包括支援センターや社会福祉協議会のメンバーが認知症の方やその家族への接し方をわかりやすく紹介しました。芸能演芸会では、各地区の趣向を凝らした出し物で会場を披露したほか、アトラクションとして大石田唱和会、エコーミュージック、大石田町民謡研究会が歌と踊りのステージで会場を盛り上げていました。



美しいハーモニーを披露

お おいだふれあいコンサートが虹のプラザ多目的ホールで3月11日(日)に開かれ、詰め掛けた観客が合唱や音楽家によるクラシックや合唱の演奏を楽しみました。コンサートは新たに町で結成された合唱団「大石田で合唱を楽しむ会」(佐藤登会長)が主催したもので、合唱団は東日本大震災から7年となったことにちなみ「花は咲く」など2曲の美しいハーモニーを披露しました。また、声楽家の佐藤登さん・知里さん夫妻(本町)ら県内で活動する音楽家6人によるステージもあり、観客は美しい演奏に聴き入っていました。



男の料理で健康意識高める

料 理初心者の男性向けの料理教室「男だけの料理教室」が2月20日(火)に虹のプラザ調理室で開かれ、町内の男性9名が「さばの味噌煮定食」作りに挑戦しました。これは自分で料理をすることで塩分摂取など自身の健康に対する意識を高めてもらおうと初めて開催したもので、参加者は管理栄養士の島貫久美子さんの指導のもと、さばの味噌煮やきんぴらごぼうなど4品を作りました。参加者の一人は「普段は包丁を持つこともほとんどありませんが、思ったよりも簡単に作れました。家でも作って、家族に食べてもらいたい」と話していました。



スノーシューで大石田の冬楽しむ

西 洋式のかんじき「スノーシュー」で雪原を歩く「スノーシュートレッキングin大石田」が2月25日(日)に開催され、町内外の20人が雪原の山歩きを楽しみました。これは大石田アウトドアクラブ遊Be隊(柴田和徳代表)が主催したもので、参加者は遊Be隊メンバーの案内のもと、あつたまりランド深堀を出発して町民の森展望広場まで、誰の足跡もついていない真っ白な雪の上を、スノーシューをはいて歩いて登りました。頂上についた参加者らは、板チョコを溶かしてチョコフォンデュを味わいつつ、歩いてこなければ見ることができない絶景を楽しんでいました。

